

文部科学省委託 令和8年度新時代の教育のための国際協働プログラム

(初等中等教職員国際交流事業)

韓国政府日本教職員招へいプログラム (韓国派遣プログラム)

[2026年6月12日、6月19日、7月5日～7月12日、9月、10月30日]

実施要項

1. 初等中等教職員国際交流事業について

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（以下 ACCU）は、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現を目指して、アジア太平洋の人々と協力し、教育と文化の分野における地域協力・交流活動を推進している。ユネスコ憲章の「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という言葉に則り、活動を展開している。

その一環として、ACCU はアジア太平洋地域の相互理解と友好の促進を目的に、未来を担う子どもたちを育む「教職員」を対象とした国際交流事業を、2001年から日本政府の協力を得て開始した。これまでに、日本と韓国・中国・タイ・インドとの間で、4,600人以上の海外教職員を日本に招へいし、また1,300人以上の教職員を海外に派遣してきた。その結果、教職員の学びが多くの子供・生徒・教職員・地域住民に還元され、さらにこの事業をきっかけに多くの学校間の国際交流が生まれ、各国間の相互理解と友好の促進に寄与している。

日本と韓国間の国際交流事業は、文部科学省の協力を得て、2001年から韓国の教職員を日本へ招へいする「韓国教職員招へいプログラム」が実施され、また2003年からは日本の教職員を韓国に派遣するプログラムが文部科学省及び国際連合大学の協力のもとで行われた。これらの活動は韓国政府から高く評価され、2005年からは韓国教育部の協力のもと、韓国ユネスコ国内委員会（以下 KNCU）によって「ユネスコ日韓教職員対話プログラム」の一環として、「韓国政府日本教職員招へいプログラム」（以下韓国派遣プログラム）が実施されている。今年度の事業は、『「あたらしい」学び』と「新時代に求められる教職員像」を考えることをテーマに掲げて実施する。また、本プログラムを通じて、今はまだ存在しない「学び」や「教職員像」を、多様な視点や経験、教職員としての悩みを持ち寄り共有することで創造していくことを目指す。

2. 令和8年度の韓国派遣プログラムについて

今年度のプログラムは「Schools Nurturing Citizens, Teachers Collaborating in Solidarity」をテーマに掲げて実施する。

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）が2021年11月に刊行した報告書『私たちの未来を共に再想像する：教育のための新しい社会契約（Reimagining Our Futures Together: A new social contract for education）』において、協力と連帯のための教育学が協調され、協働的専門職としての教師や、教育的・社会的変容をもたらす教師が求められている。地球規模の課

題や人工知能の台頭が見られる中、学校ではただ知識を伝達することにとどまらず、平和であり、インクルーシブであり、持続可能な未来の担い手となる市民を育てることがますます重視されている。このような状況を踏まえ、韓国の教育や教育機関における取組を学び、日韓教職員が交流する中で、参加者が上述テーマと向き合う機会を創出する。

3. 目的

- (1) 東アジア地域の平和と文化に貢献すること
- (2) 韓国と日本の教育制度、環境、文化についての相互理解を深めること
- (3) 平和及び持続可能な開発を促進する中で、参加教職員がチェンジメーカーとして必要な資質・能力を培うこと
- (4) 国際的な教育交流を通じて、将来の教育における新たな課題を検討し、その対策を講じること
- (5) 韓国と日本の学校及び教職員間のネットワークと連携を強化すること

4. 活動内容

- (1) 韓国と日本の学校及び教職員間のネットワークと連携を強化すること
- (2) 韓国の教育事情に関する講義の受講
- (3) 学校等の教育機関及び教育・文化施設への訪問
- (4) 韓国の教職員及び児童・生徒との交流・意見交換
- (5) 一般家庭への訪問と交流
- (6) 現地滞在前後のオンラインセッションへの参加

5. 日程（暫定）

日付	日程	場所（形式）	活動	
			グループ A	グループ B
6月12日（金）	17:00-19:30	オンライン	第1回事前オリエンテーション（ACCU主催）	
6月19日（金）	15:00-16:30	オンライン	第2回事前オリエンテーション（KNCU主催）	
7月5日（日）	午後	成田国際空港 周辺	出発前オリエンテーション	
7月6日（月）	1日目	千葉県 韓国	午前：出国（成田国際空港→仁川国際空港） 午後：オリエンテーション、開会式・歓迎夕食会	
7月7日（火）	2日目	韓国	午前：ソウル大学校附 属小学校訪問	午前：ジャンゴック高 等学校訪問
			午後：教育庁訪問（予定）	
7月8日（水）	3日目	韓国	午前：ヨンチョン小学 校訪問 午後：ホームビジット	移動 全州市内地域遺産訪問
7月9日（木）	4日目	韓国	午前：カンウォン・ミ ョンジン盲学校訪問	午前：ファンダウン中 学校訪問

			午後：移動
7月10日（金）	5日目	韓国	地域遺産訪問 午前：インチョン・チ ョンナ中学校訪問 午後：ホームビジット
7月11日（土）	6日目	韓国	午前：日韓教職員フォーラム 午後：日韓教職員ネットワーキング
7月12日（日）	7日目	韓国 千葉県	午前：フォローアップミーティング、閉会式 午後：帰国（仁川国際空港→成田国際空港）
9月（予定）	未定	オンライン	総括ウェビナー（仮称）への参加
10月30日（金）	17:00-19:30	オンライン	フォローアップミーティング

注1：韓国滞在中の日程の一部では、参加者は2グループ（各グループ30名）に分かれて活動します。

注2：参加者のグループ分けは参加申請フォーム内「グループ希望調査」の内容に基づき行いますが、ご希望に沿えない可能性があることを予めご了承ください。

注3：総括ウェビナー（仮称）の時期や開催時間等は現時点では未定かつ変更の可能性があるので、参加者の方には後日詳細についてご案内します。（1日または2日間の開催を予定しています。）

6. 参加者

下記の教職員、随員等の計60名程度の参加とする。

- ・公募により選抜された初等中等教職員または教育行政職員
- ・文部科学省、ACCUの職員

7. 参加資格

- (1) 日本国籍を有すること
- (2) 応募時に有効なパスポートを所有していること（入国時に6か月以上有効なパスポートであること）
- (3) 所属する機関の長（教育長・学校長等）から推薦を受けた、初等中等教職員または教育行政職員であること
- (4) 応募前に、所属長等とプログラム参加について十分に相談し、参加者として選考された場合には、業務の都合等により参加を辞退しないこと
- (5) 健康であり、オンラインを含めたプログラムの全日程に参加が可能であること
- (6) プログラムに対する目的意識を強く持ち、プログラム期間中に行われるすべての活動に積極的に参加できること
- (7) プログラムで得た学びや知見を活かし、「8. 評価と報告」に記載の内容に対応できること
- (8) プログラムの趣旨を理解し、将来にわたり韓国との教育交流の推進に寄与できること
- (9) 団体行動の規律を守り、主体性を持って積極的にプログラムに参加できること
- (10) 習慣や文化の異なる国との交流であることを理解し、突然の変更や直前の情報共有などにも柔軟に対応できること
- (11) EメールやLINEを用いて円滑に連絡ができ、またMicrosoft Word/Excel/PowerPointを使用できること
- (12) オンラインセッション参加のために必要なPCや通信環境を整えることができること

- (13) 滞在中の記録のために必要なスマートフォン、カメラ等を準備できること
- (14) 出発前オリエンテーション（日本国内）から韓国の現地、日本帰国に至るまで、参加者負担によるポケットWi-FiやSIMカード、e-SIM等により、携帯電話やスマートフォンなどの通信環境を整え、EメールやLINE等で常に連絡が取り合える状況でいられること
- (15) 主催者や実施運営団体の指定する報告書やアクションプランなどを作成・提出でき、インタビューに協力できること

8. 評価と報告

帰国後、各参加者は下記について取り組むこと。

- ・ 以下の、アクションプランや報告書に記載していただく内容や提出方法等詳細は、後日参加者に連絡予定。
- ・ 参加者のアンケート回答内容は、本事業の発展及び質向上等を目的とした調査・分析等に利用され、また、報告書やアクションプランを含む全ての報告内容は、ACCU及びKNCUの事業報告書やウェブサイト等に掲載されるとともに、教育関係者にも広く普及される。

(1) アンケート調査への協力

(2) アクションプラン作成と提出

日本語版と英語版の計2種類を作成し、2026年8月2日（日）までにACCUへ提出すること。

(3) 報告書の作成と提出

プログラムの振り返りや、アクションプランの実践状況及び成果等をまとめた報告書を、日本語版と英語版の計2種類作成し、2026年10月29日（木）までにACCUへ提出すること。

(4) 参加後、以下の少なくともいずれか一つについて取り組むこと

- ・ 教育現場において、プログラムでの経験を活かした教育実践を行う
- ・ 所属機関や近隣の学校、教育委員会、研究会等において、プログラムで得た知見や経験を他の教職員に伝える
- ・ 図書館や地域の生涯学習の場、勉強会等の地域コミュニティにおいて、プログラムの経験や成果を発信し、必要に応じて国際理解促進に努める
- ・ 所属機関や教育委員会のウェブサイト等において、プログラムでの学びや今後の教育実践の展望、実践事例等を掲載する
- ・ 地域の新聞・ラジオ・SNS等の各種媒体を活用し、プログラムの内容や成果を発信する

9. 渡航費等諸経費

(1) KNCUは下記を負担する。

- ・ 往復航空運賃：日本と韓国の国際空港間のエコノミークラス航空券
- ・ 公式プログラムに係る韓国内の交通費
- ・ 韓国滞在中の宿泊費・食費
- ・ プログラムの運営に必要な経費（通訳等）

(2) ACCUは下記を負担する。

- ・ 日本国内交通費：出発前オリエンテーションの会場までの交通費及び帰国日の到着空港から自宅までの交通費（ACCUの規定に準ずる）
- ・ 出発前オリエンテーション当日（出発前日：7月5日）の宿泊費：参加者の宿泊先はACCU

が手配する。

注1：オリエンテーション開始までに到着可能な交通手段がない場合に限り、前日（7月4日）の宿泊費を支給しません（ACCUの規定に準ずる）。なお、前泊で利用する宿泊先は参加者自身でご手配ください。

注2：帰国当日中に居住地に到着可能な交通手段がない場合に限り、帰国当日（7月12日）の宿泊費を支給しません（ACCUの規定に準ずる）。なお、後泊で利用する宿泊先は参加者自身でご手配ください。

注3：本プログラムは基本的に所属機関を代表し、公務での参加となるため、日当は各所属先の負担となります。本事業からプログラム期間を通して日当は支給されません。

(3) 各参加者は下記について負担する。

- ・ 海外旅行保険料：万一の事故に備え、出発前に必ず各自の責任において加入しておくこと
- ・ 韓国現地で使えるポケット Wi-Fi や SIM カードなどを手配する際の費用
- ・ 上記 (1)、(2) 以外の諸経費

10. 現地での使用言語

プログラム期間中は、日本語—韓国語間の逐次通訳を KNCU が手配する。

11. 情報管理

以下に関して、予め了承した上で申請すること。

ACCU は、応募者からご提供いただく個人情報を用いた以下の目的のために利用する。情報は厳重に取り扱われ、本プログラム運営以外の目的で使用されることはない。

- (1) 令和8年度韓国政府日本教職員招へいプログラムの選考のため
- (2) 同プログラムに関するハンドブック・報告書等の各種書類に使用するため
- (3) 同プログラムに協力する機関（文部科学省、在大韓民国日本国大使館、韓国教育部、KNCU 等）へ運営上必要な情報を共有するため
- (4) 教職員国際交流事業の更なる発展に役立てるため

12. その他

- ・ 成果発信・普及のため、プログラム中に撮影された写真や動画、参加者が作成・提出したアクションプランや報告書等は、文部科学省、ACCU、韓国教育部、KNCU が作成する資料やウェブサイトなどの紙・電子媒体で随時使用・掲載される場合がある。
- ・ 食事制限等がある場合、参加者の希望等に添えない可能性がある。該当者については、食べられるものを持参するなど必要に応じて各自で対応する。

13. お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部

担当：蓮見・山本

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL: 03-5577-2853

Email: exchange@accu.or.jp